

「業務改善助成金」のご案内

～ニーズに応えた低額のコースを新設～

『業務改善助成金』は、生産性を向上させ、「事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）」の引上げを図る中小企業・小規模事業者を支援する助成金です。

助成金の概要

事業場内最低賃金を一定額以上引き上げ、
設備投資（機械設備、コンサルティング導入や人材育成・教育訓練）
などを行った場合に、その費用の一部を助成します。

賃金引上げ



設備投資等



設備投資等に要した
費用の一部を助成

詳しくはHPをご覧ください！



業務改善助成金

検索



概要

※令和3年2月1日より申請受付開始

コース区分	引上げ額	引き上げる 労働者数	助成 上限額	助成対象事業場	助成率
20 円コース	20 円以上	1 人	20 万円	以下の2つの要件を 満たす事業場 【徳島県の場合】 ・事業場内最低賃金と 地域別最低賃金の差額が 30 円以内 <u>(796 円から 826 円以下)</u> ・事業場規模 100 人以下	4 / 5 (※) 生産性要件を満たした場合は 9 / 10
		2～3 人	30 万円		
		4～6 人	50 万円		
		7 人以上	70 万円		
30 円コース	30 円以上	1 人	30 万円		
		2～3 人	50 万円		
		4～6 人	70 万円		
		7 人以上	100 万円		

上記のコースは令和2年度第3次補正予算案に基づく措置であり、予算の成立が条件となります。
令和2年度の25円・60円・90円の3コースは令和3年1月29日で受付を終了します。

(※) ここでいう「生産性」とは、企業の決算書類から算出した、労働者1人当たりの付加価値を指します。
助成金の支給申請時の直近の決算書類に基づく生産性と、その3年度前の決算書類に基づく生産性を比較し、伸び率が一定水準を超えている場合等に、加算して支給されます。

○助成金受給の流れや申請先等については裏面をご覧ください。

◆ 徳島県内における業務改善助成金の活用事例 ◆

業種	投資内容	業務改善の必要性	取組の効果
建設業	①土木積算システム ②シャーレンチ	①今までは発注元が作成した設計書を印刷し、紙ベースから数量、工程、種別、工法など全てパソコンに打ち直し積算し、非常に時間がかかっていた。 ②現在、M20,M22 兼用のシャーレンチでは重く、M16 のボルトの締め付けにはソケットの交換が必要なため、高所の作業に不便である。	①導入後は発注元からデータで設計書入手し、即積算作業にかかることができ 50%短縮できた。同時にヒューマンエラーもなくなり積算チェックに時間がいらなくなった。 ②新たなシャーレンチの導入により重量が軽くなり、高所作業の安全性が高まり、作業能力が 30%UP した。

導入により作業能力が上がり、正確性・高所での作業では安全性も高まった。



①時間の短縮ができ残業も少なくなった。
②M16 専用としていたので軽く高所作業も容易にできるようになった。



業種	投資内容	業務改善の必要性	取組の効果
自動車販売・整備業	エアコンガス回収再生機	エアコンガス回収作業は社外へ外注していた。サービススタッフ 2 人で外注先に車を預けに行き、翌日、取りに行くという状況であった。車両を運ぶ往復の時間がかかり、サービススタッフの整備作業の時間が取られるため、顧客への車両返却日が遅くなっていた。	導入により、作業時間が 1 時間で 2 工程の作業が行え、作業効率が大幅にアップした。サービススタッフの労働能力の増進、作業効率が上がったことで、顧客を待たせることがなくなり、サービスの質も向上した。
	自動車整備業務用業務ソフト	現在、簡易ソフトを使用しており、見積り、納品請求書などの伝票作成に時間がかかる。そのためサービススタッフの作業時間がとられ、顧客への車両返却が遅くなっていた。	ソフト導入により、伝票作成、入金請求管理、売上、売掛金残高一覧の作成時間を短縮することができ生産性が向上した。車検期日やオイル交換の一覧など、車両・顧客管理が可能となり、業務の効率化、改善ひいては顧客を待たせることがなくなりサービスの質の向上につながった。

最新の機械が助成金を利用して購入できたことで、資金の引き上げが実現できてよかった。今後も助成金の活用を活用していきたい。



作業時間が短縮でき、顧客を待たせることなく車の返却が当日行えるようになったことで、顧客に貸し出す代車の準備が不要になった。1 日に入庫できる車が増え、売上増進に繋がっている。



1 日の作業量が増え、売上 UP になっている。高額なソフトを助成金を利用して購入できたことで、パートタイマーの時給が上げられて満足している。

以前は作業しながらの伝票作成に時間を費やしていたが、このソフトを導入したことにより、書類作成と顧客管理が一入力で同時に行えるため、作業効率が格段に向上した。

業種	投資内容	業務改善の必要性	取組の効果
食料品製造業	ベルトシーラー	熱圧着シーラーで商品の口を閉じるのに 16 秒かかり、しかも足踏み式のため作業者の足腰の負担が大きく、片足の上げ下ろしが一日数千回の作業となり、連続で作業可能な時間が限られていた。	導入により、作業時間が半分になり、また片足の上げ下ろしをせずに椅子に腰かけたままでも作業が可能となったことから、作業性が向上するとともに作業員への体の負担が軽くなった。
	スパウトキャッパー機	容器のキャップ締めは手作業のため多大な作業時間を要する上に、作業による手指の痛みや手の皮が剥けるなどする者もいた。	手作業による負担が大幅に軽減され、労働能力の増進につながり、他の作業に時間を充てることのできた。キャップの締め付けも安定し、製品の精度が向上し、ゼリーの生産能力が 3 倍に向上した。

期待どおりの業務改善を少ないコストで達成することができ、資金の少ない中小企業において助成事業が果たす役割の重要性を実感した。



シーラー部分の確認作業が簡単になり、シール品質のばらつきが減り、シールミスがほとんど無くなったことで、歩留まりと仕上がりの品質が向上した。



作業時間が短縮されただけでなく、キャップ締めの担当が誰でも出来るようになり、ひとりの負担が少なくなった。

キャップ締め付けが安定し精度が向上した。3 人での作業が 2 人になったが、キャッパー導入により、手指の負担がなくなった。

業種	投資内容	業務改善の必要性	取組の効果
小売業 (飲食部門)	スチームコンベクションオープン	焼き物は旧式ガスオーブンを使用していたが、きめ細やかな温度調整が必要なため付きっきりで管理が必要な上に、焼き物以外には使用できなかった。 蒸し物もガスレンジの蒸し器を使用し、きめ細やかな管理が必要であった。オープンや蒸し器の管理に人手が取られ、その他の業務への対応が難しく、集客に必要な多彩なメニューへの対応も困難であった。	導入により、調理時間が短縮され、管理に手間をかけなくていいので作業の効率が図られた。また集客力のあるメニューを提供することもできるようになった。仕上がりが安定しているため、焦げ付き等による食品ロスを減らすことができた。
各種商品小売業	コンパクト精米システム	今ある精米機では 30kg を精米するのに 30 分かかる上に、石等混入している可能性のある米は、コイン精米機にもって行き精米していたため費用も時間もかかり、小分するのも秤ではかり手作業のため、かなり時間と手間がかかっていた。	導入により、30kg を精米するのに 6 分と大幅な時間が短縮となった。白米選別機によって砕けた米や異物等を除去し、安定した計量ができることにより、ブランディングしたお米をより高商品にグレードアップすることができ、販売力も強化できた。白米計量器を組むことにより、高精度の安定した計量もでき、従事する人の負担軽減となった。導入後の精米システムは最初に精米機に投入さえすれば、小分け計量になるまで自動になり、作業はかなり楽になった。



作業の効率化はもちろん、メニューの充実が図られ、大変喜んでいきます。

助成金の活用により、大変高額で重宝な調理機を導入することができ感謝しています。



業種	投資内容	業務改善の必要性	取組の効果
保険業	社員教育指導マニュアル作成ソフト	具体的なマニュアルがないため、指導者によって指導方法にばらつきがあり、新入社員のスキルがなかなか向上しなかった。また口頭の指導では時間が経過すると忘れてることが多々あり、無駄な時間を要していた。	指導マニュアルが 15 分ほどで作成可能となり、社内共有ファイルで自由閲覧が可能となった。独自で学ぶことや、操作が分からない時はすぐに確認ができるようになった。また指導時間が大幅に短縮し、作業効率が改善された。
教育・学習支援業	①電動裁断機 ②スキャナ	①書籍の電子化を行う際に現在使用している裁断機は、一度に 100 枚程度しか裁断できない。一般的な蔵書を裁断する場合は、一旦カッターで分割してから裁断しており、時間がかかる上に安全機能が十分ではない。作業時間が 4 分かかっていた。 ②スキャナの読み取りが遅く、袋とじページや折込ページは切り開かないと自動原稿送りスキャナに投入できない。 スキャン時間は約 40 分かかっていた。	①電動裁断機の導入により、作業時間を 4 分から 1 分に短縮できた。 ②袋とじ、折込ページ等、直接スキャンできるようになり、作業時間の短縮につながった。正確に色が読み取れているか否かの確認をソフトウェアで自動実行できるようになり、目視確認の時に比べて作業時間が 40 分から 3 分に短縮された。

マニュアルを作成した事によってスキルが統一されて指導時間が短縮した。

マニュアルを作成した事によって教育指導の時間が短縮し作業効率が良くなった。



計画どおり作業が早くなり、図書数をより増やせそうです。設立直後で資金が少なかったのを助かりました。



業種	投資内容	業務改善の必要性	取組の効果
食料品製造業	アイスボックス クッキー自動 カッター	焼き菓子製造工程において手作業により包丁を用いて一枚ずつクッキー生地の切断作業を行っているが、次の問題点があった。 ①包丁で切断する等手作業による所要時間のばらつき ②左手で生地を押さえて切ることによる怪我の危険性 ③作業者による手作業のため厚みが均一ではなく品質のばらつき ④手袋をして作業をしているが気づかないうちに手袋を切り、その切れ端が食品に混入する可能性	①クッキー生地を2本同時に切断できるようになり約半分程度の時間に短縮した。 ②保護カバー内でカットされるため怪我の危険性がなくなった。 ③ベルト送りの幅が全く同じのため、厚さが均一になりばらつきが無くなった。 ④手袋の切れ端が食品に混入する可能性がなくなった。 手作業で行っていた作業を機械化、自動化することにより作業の時間短縮と効率化、作業者の安全性向上と肉体的負担を軽減し、同時に製品の均質化、異物混入リスクの低減、品質向上の成果が得られた。
食料品製造業	パワーゲート V600(垂直式)	味噌を店舗横で仕込み、気温の低い山中の蔵まで運び醸造している。その際、味噌の詰まった桶(約80kg)を従業員2名で持ち上げトラックに積み込んでいる。そのため体への負担が大きく作業効率も悪い。	桶の昇降には2名必要であったが、当該機械を導入することにより1名での作業が可能になった。また男性でないと作業が行えなかったが、導入後は女性でも作業可能となった。
金属工作機械用・金属加工機械用部品・付属品製造業	COM-TOOLソフトバージョンアップ	弊社のマシニング機械加工は、発注先から図面データもらい「CAM-TOOL」ソフトで加工データに変換して加工している。ソフト導入前は、簡単な図面作成で2時間、複雑なものは2日かかっていたが、導入後は半分くらいに縮小できた。しかし、発注先からの図面データは多種にわたり、また複雑な加工内容もあり、それぞれに対応していくのに調べることから始まるので、余分な時間が必要になっている。	「CAM-TOOL」ソフトをバージョンアップすることにより、データ作成時間が30分～2時間程度短縮でき、併せてサポート保守契約により電話とソフトの遠隔作業で多種図面データの対応と複雑な加工について適切なアドバイス、指導が得られ、加工データ作成時間の1～2日の短縮ができた。
衣服・その他の繊維製品製造業	①高速電子本縫いボタン付けマシン ②ダイレクトドライブ本縫糸切りマシン	①使用しているボタン付けの機械が30年前の機種であるため平均10回に1回は糸が外れ、1本縫いの単環式で糸締めも悪く、ボタンをつけるのに大変な労力と時間を費やしていた。 ②弊社のマシンはすべて中古で購入したもので年式が古く、糸切りマシンというものの現在のマシンとは糸切り精度が違い糸が多く残ってしまう。また油がにじみ出て製品についてしまうことが度々あり、メンテナンスに追われていた。	①縫い始め・縫い終わりの高速立ち上げ、立ち下げ、糸切り速度および自動押さえ上げ、動作の高速化によりトータルサイクルタイムを大幅に短縮できた。それに加え、今までの機械は1本で縫っていたのでボタンがよく外れていたが、今回の機種は2本糸仕様なので安定した糸の結節が得られ品質も向上した。またマシンを踏む力が軽減され、糸外れが無くなった。 ②動作の高速化による大幅な時間短縮に加え、油汚れ防止のドライ化と微量給油システムにより油汚れを気にしなくてもよく、安定した縫い目を実現し綺麗な仕上がりになった。下糸の残りがわずかになり糸切りの手間が省けるようになった。
その他製造業	移動式集塵機ダストキャリー	研磨装置2台を稼働する際には、1台の集塵機で集塵を行っているため加工効率が非常に劣っている。また、加工内容によっては集塵機的能力が不足するため研磨装置を2台稼働できない。そのため残業して目的の納期に間に合わせるようにしている。	①研磨加工を効率よく行うことができ、作業者の負担が軽減され、従来の1.5倍の早さで処理できるようになった。 ②納期を短縮することができ、お客様の待ち時間が短縮された。 ③厚み規制など目的の品質に見合った加工ができるようになった。 ④生産性効率が向上するので製品のコストダウンと労働者の賃金アップが見込まれ販売促進につながった。

助成金支給までの流れ

交付申請書・事業実施計画などを、最寄りの都道府県労働局に提出

審査

交付決定後、提出した計画に沿って事業実施

労働局に事業実施結果を報告

審査

支給

ご留意頂きたい事項

- ◆ **助成金の支給は令和2年度第3次補正予算の成立が条件となります。**
- ◆ 過年度に業務改善助成金を活用した事業場も、助成対象となります。
- ◆ 事業完了の期限は令和4年3月31日です。

業務改善助成金のお問合せは

徳島働き方改革推進支援センター Tel : 0120(967)951

業務改善助成金の申請先

徳島労働局雇用環境・均等室

Tel : 088(652)2718



厚生労働省・徳島労働局